

令和 2 年度 学校経営環境分析書

安浦中学校区 校番 34 学校名 呉市立安登小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>○地域の方が教育活動に対して協力的である。 ○地域の施設が協力的で、体験活動や交流活動ができる。 ○民生委員・児童委員等のゲストティーチャーとしての支援が強く、地域とのふれあいを通して豊かな心を育むことができる。 ○ICT 環境が整っている。 ○自然環境に恵まれている。</p>	<p>S (強み)</p> <p>○教職員間の連携がスムーズで、対応が迅速にできている。(情報の共有等) ○小中が連携し、基本的な考え方を基に単元づくり・授業改善に取り組んでいる。 ○素直に物事に取り組む児童が多い。 ○縦割り班活動を通して、高学年のリーダー性が育っている。 ○異学年同士のつながりが強い。</p>	内部環境
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>○運動場が狭く、運動スペースがとりにくい。 ○校区が広く、校外学習での見学場所が遠い。 ○単学級のため、人間関係が固定化しやすい。 ○業務改善に対する意識が希薄である。</p>	<p>W (弱み)</p> <p>○児童の自己肯定感が低い。 ○学力差があり二極化が見られ、基礎学力の定着度が低い児童がいる。 ○主体的に判断したり、行動したりする自主性に課題がある。 ○進んであいさつをする児童が少ない。</p>	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

○よりよい人間関係の中で高まりあえる教職員集団を目指し、授業改善に取り組む。
○地域との関わりを大切にしながら教育活動を継続し、心豊かな人間形成を目指す。
○「学びのすすめ」を基に保護者との連携を深め、学習規律を徹底する。
○高学年の活躍の場を設定し、ふり返りや評価をすることでリーダー性を高める。

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

○肯定的評価を継続させる。
○あいさつ・返事の指導を強化する。
○学力向上に向けて、実態把握をし少人数指導や個別指導をする。
○時程・日課の工夫改善をする。
○防災教育を充実させる。
○「話す、聞く、話し合う」活動を通して、人間関係を築く力を育む。
○自ら考え、判断し、表現・行動できるようにする。

2 重点課題

- ① 逆向き設計シートの活用等により、主体的・対話的に深く学びながら、思考力・判断力・表現力を高める授業作りを行う。
- ② ふるさと学習・生き方学習の充実により、ふるさとに感謝・貢献しようとする児童を育成する。
- ③ 授業改善・外遊びの推進及び「くれチャレンジマッチ・スタジアム」の取組等により、体力を向上させる。
- ④ 業務の精選と効率化の徹底によるボトムアップの働き方改革を推進する。

